

令和元年度

印旛地区教育研究会

生活科学研究部
定期総会要項

令和元年5月8日（水）

会場：印旛教育会館

次 第

- 1 開会の言葉
- 2 研究部長あいさつ
- 3 議長選出・書記任命（議長：2部会）（書記：2部会）
- 4 報告事項
 - （1）平成30年度事業並びに決算報告
 - （2）平成30年度会計監査報告
 - （3）平成30年度1部会から5部会活動報告
 - （4）平成30年度千葉県生活科学研究部活動報告
 - （5）その他
 - ・令和元年度 1部会から5部会生活科学研究部役員報告
- 5 協議事項
 - （1）平成30年度事業並びに決算承認に関する件
 - （2）令和元年度事業並びに予算承認に関する件
 - （3）令和元年度本部役員選出に関する件
 - （4）その他
- 6 新旧役員あいさつ
- 7 来賓あいさつ
- 8 閉会の言葉

※連絡事項

報告事項（１）平成３０年度事業

- 1 研究テーマ 「はばたけ！未来を創る子どもたち」
～見つける・つながる・実現する～
- 2 研究の視点（教材づくり・授業改善を通して）
 - （１）主体的・対話的で深い学びをめざす
 - ・生活科における言語活動の重視
 - ・生活科の豊かな活動づくりの工夫
 - ・カリキュラムマネジメント
 - ・体験的な学びを通じた学習の工夫
 - （２）育成すべき資質・能力（学習指導要領の改訂に向けて）
 - ・何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）
 - ・理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - ・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - （３）一人一人の活動を認める評価のあり方（評価方法の改善）
 - ・多様な評価の活用（自己評価・他者評価・形成的評価等）
 - ・子どものやる気を伸ばす評価
 - （４）他教科及び幼保との連携の推進
 - ・幼稚園、保育園及び小学校との連携教育の推進（スタートカリキュラム）
 - ・総合的な学習の時間との連携
 - ・人との関わりの重視（幼・保・異学年・高齢者・障害者等との交流）
- 3 活動の重点
 - （１）次期学習指導要領の改訂をふまえ、指導内容の見直し改善を図る。
 - （２）地域や学校の特色を生かした実践的研究を推進する。
 - （３）スタートカリキュラムの充実（幼・保・小の連携）
 - （４）生活科部会と総合的な学習部会との連携に努める。

4 平成３０年度事業

月 日	曜日	事業名	会場	時刻	内 容
4月18日	水	役員会議	印旛教育会館	15：30	総会打合せ等
5月 8日	火	研究部総会	印旛教育会館	15：00	事業・予算・役員承認等
6月29日	金	生活科研修会 中間検討会	印旛教育会館	15：00	研究集会中間検討会・ 研修視察の検討について
8月27日	月	生活科研修会	印旛教育会館	9：00	研修会・講演
8月28日	火	研究集会	ホテル日航成田	9：00	提案・協議・報告等
10月17日	水	授業研修会	染井野小学校	13：00	授業参観・協議
2月19日	火	役員会議	印旛教育会館	15：30	次年度計画打合せ及び 会計決算・予算案作成等

報告事項(1)平成30年度決算報告

1 収支決算

収 支 総 額	支 出 総 額	差 引 残 高	備 考
298,000 円	298,000 円	0 円	

2 収入内訳

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
印教研補助金	298,000 円	298,000 円	0 円	
前年度繰り越し	0 円	0 円	0 円	
合 計	298,000 円	298,000 円	0 円	

3 支出内訳

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
研 修 費	255,000 円	262,000 円	-7,000 円	各部会補助・研修費等
会 議 費	10,000 円	5,000 円	5,000 円	会議運営費・会場費
広報活動費	13,000 円	10,800 円	2,200 円	研究部会報発行料
通 信 費	10,000 円	9,920 円	80 円	郵送料等
事 務 費	10,000 円	10,280 円	-280 円	印刷用紙 事務用品購入等
合 計	298,000 円	298,000 円	0 円	

報告事項(2)平成30年度会計監査報告

証拠書類も整理され、帳簿類の記載も誤りがなく、適正である。

会計監査委員

押本 和美

露口 真由美

報告事項（３）平成３０年度１部会から５部会活動報告

（１）１部会生活科学研究部 活動報告

（２）２部会生活科学研究部 活動報告

（３）３部会生活科学研究部 活動報告

（４）４部会生活科学研究部 活動報告

（５）５部会生活科学研究部 活動報告

報告事項（４）平成３０年度千葉県生活科学研究部活動報告

※千葉県生活科教育研究協議会 安房大会

期 日 平成３０年１１月１６日（金）

会場校 鴨川市立天津小学校

研究主題 「はばたけ！未来を創る子どもたち」
～見つける・つながる・実現する～

報告事項(5)その他

令和元年度 各部会生活科研究部 役員名簿

研修○

広報☆

役職等		1部会	2部会	3部会	4部会	5部会
部長 1名	氏名	林 道代	高橋 裕子	山邊須美子	小倉 知香	末永 千紘
	学校名	臼井小	七栄小	平賀小	実住小	八木原小
副部長 2名	氏名	小川 恵子○	井野 綾○	松岡真紀子○	椎名 泉○	郡司 光○
	学校名	印南小	吾妻小	滝野小	川上小	四街道小
	氏名	渡部 未沙☆	本田 朋実☆	松崎 翔子☆	内田 伸子☆	西村 優☆
	学校名	間野台小	富里南小	七次台小	交進小	和良比小

協議事項（２）令和元年度事業計画（案）

- 1 研究テーマ 「はばたけ！未来を創る子どもたち」
- 2 研究の視点（教材づくり・授業改善を通して）
 - （１）主体的・対話的で深い学びをめざす
 - ・生活科における言語活動の重視
 - ・生活科の豊かな活動づくりの工夫
 - ・カリキュラムマネジメント
 - ・体験的な学びを通した学習の工夫・授業改善
 - （２）育成すべき資質・能力（学習指導要領の改訂に向けて）
 - ・何を理解しているか、何ができるか（知識・技能）
 - ・理解していること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - ・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
 - （３）一人一人の活動を認める評価のあり方（評価方法の改善）
 - ・多様な評価の活用（自己評価・他者評価・形成的評価等）
 - ・子どものやる気を伸ばす評価
 - （４）他教科及び幼保・地域との連携の推進
 - ・幼稚園、保育園及び小学校との連携教育の推進（交流の充実）
 - ・総合的な学習の時間との連携
 - ・人との関わりの重視（幼・保・異学年・高齢者等との交流）
 - ・地域との連携（地域教材開発）
- 3 活動の重点
 - （１）次期学習指導要領の改訂をふまえ、指導内容の見直し改善を図る。
 - （２）地域や学校の特色を生かした実践的研究を推進する。
 - （３）スタートカリキュラムの充実（幼・保・小の連携）
 - （４）生活科部会と総合的な学習部会との連携に努める。

4 令和元年度事業

月 日	曜日	事業名	会場	時刻	内 容
4月17日	水	役員会議	印旛教育会館	15：30	総会打合せ等
5月 8日	水	研究部総会	印旛教育会館	15：00	事業・予算・役員承認等
6月28日	金	生活科研修会 中間検討会	印旛教育会館	15：00	研究集会中間検討会・ 研修視察の検討について
8月1日	水	研修会	未定	9：00	研修会・講演
8月27日	火	研究集会	ホテル日航成田	9：00	提案・協議・報告等
11月		授業研修会	未定	午後	授業参観・協議
2月18日	火	役員会議	印旛教育会館	15：30	次年度計画打合せ及び 会計決算・予算案作成等

協議事項(2)令和元年度予算(案)

1 収入内訳

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
印教研補助金	298,000 円	298,000 円	0 円	
前年度繰り越し	0 円	0 円	0 円	
合 計	298,000 円	298,000 円	0 円	

2 支出内訳

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
研 修 費	260,000 円	260,000 円	0 円	各部会補助・研修費等
会 議 費	5,000 円	5,000 円	0 円	会議運営費・会場費
広報活動費	13,000 円	13,000 円	0 円	研究部会報発行料
通 信 費	10,000 円	10,000 円	0 円	郵送料等
事 務 費	10,000 円	10,000 円	0 円	印刷用紙 事務用品購入等
合 計	298,000 円	298,000 円	0 円	

令和元年度本部役員

役 職	氏 名	職 名	学 校 名	備 考
部 長				
副部長				
〃				
事務局長				
幹 事				
〃				
〃				
監 査				
〃				

顧問

池田 幸夫

前研究部長